



秋が深まっています。串木野高校校長です。よろしくお願いいたします。

今回のテーマは、「**防災教育に関して**」です。

本日まで中間考査でした。生徒諸君は、2学期真ん中のひと区切りをつけて、**月末の文化祭**に向けて、仕上げ段階に入っていくことでしょう。(保護者の皆様方には、バザーへのご協力などを、お願い申し上げておりました。よろしくお願いいたします。)

先月書きましたが、また、明日から土日月の3連休になります。

その中日の**13日(日)**は、「**いちき串木野市市民体育大会**」が多目的グラウンドで開催されます。こちらに参加される保護者の皆様もいらっしゃると思います。お疲れ様です。翌14日(月)がスポーツの日で祝日ですが、爽やかな汗がかけそうですね。

さて、これも先月なのですが、全国の防災教育の会に参加してきました。東日本大震災を経験された宮城県気仙沼市で、小中高を訪問したり、震災遺構を見学したりして、リアルな現実を見させていただきました。串高も海から近く、台風や津波に備える必要が…、と感じたところでした。

東日本大震災は、2011年(平成23年)3月11日14時46分に発生しました。

揺れはもちろん、津波が街を襲い、大規模な被害がありました。～～写真をお届けいたします。



津波に呑まれた「時計」

道の駅に展示してあった津波に呑まれて、止まってしまった時計。気仙沼の国道45号を管理する気仙沼国道維持出張所のものだそうです。

気仙沼市は、地震から30分後の15時26分ごろ津波が襲ったそうです。

あちこちに、このような「リアル」な現実を伝えるものがありました。



気仙沼向洋高校の内部。現在は、**震災遺構「伝承館」**として、東日本大震災当時のままの姿で保存されており、校内の見学ができるようになっています。

写真は3階ですが、津波により流されてきた車がひっくり返っていました。

この学校からは、197名が高台に避難し助かり、校内に残った51人は屋上で夜を明かしたそうです。

校舎と校舎の間には、折り重なった車も残されていました。



案内や説明をしてくれるのは現地の階上(はしかみ)中学校の生徒さんたちでした。

自分たちは震災の記憶はないが、先輩方から引き継ぎながら、「**語り部**」として活動しているそうです。防災教育がこのように、世代を引き継がれながら行われていました。

この写真は、校舎屋上から海方向を見ています。高い防潮堤が続いていました。

このように、リアルな現実を見学させていただき、衝撃を受けることでした。テレビや新聞で見るのとは異なり、実際の被害の様子、自分自身も津波に流されたが生還した話、親戚や近所の方々が実際に亡くなっている話、どれも心に響くものばかりでした。生徒たちにも、写真を見せるなどの報告会をしたいと考えています。是非、防災に関してもご家庭で話題されてください。

串木野高校 頑張っています。

校長 堂蘭